



「ヴァイマンのロータリーCトランペットは音質、音程、レスポンスともに優れており、最新のテクニクで作られていながら、ヴィンテージのトランペットを彷彿させる重厚なサウンドを持っている。先日行ったシカゴ響のアジア公演でもヴァイマンはオーケ全体の中で音がよく溶け合い、ホルンなど

写真提供：ヴァイマン



ヴァイマンの「パッション」モデルを吹くシカゴ響首席のクリス・マーティン（右）とジョン・ハグストロムの両氏。（画像はヴァイマン提供）

首席の菊本和昭氏が使い出すなどオーケストラの間でヴァイマンはちょっとしたトレンドになりつ

知の世界に導いてくれる称賛すべきトランペットだ。ブラボー！」  
日本ではまだあまり知られていないヴァイマン・トランペットをこう手放しで誉めるのは、シカゴ響首席のクリス・マーティンとジョン・ハグストロムの両氏。米国では他にメトロポリタン歌劇場管弦楽団でも使われ、英国のBBC響にも採用された。日本では2011年からダクが総輸入元になり、東フィル副首席の長谷川智之氏、N響

との楽器ともとても相性が良かった。ソロでもオーケストラでも未



つある。  
アレキサンダー・ヴァイマン

は中部ドイツのカペレン

ドルフに工房を構えてトランペットを専門に製作している。Bb管C管ともに代表的なモデルが「パッション」と「クラシコ」の2機種で、シカゴ響でも使われているパッションがスタンダードモデル。クラシコはデュアルボアで

ヴァイマン「パッション」C管ゴールドプレート。

## シカゴ響、メト、東フィル、N響…… 世界のオーケストラに静かに浸透する ドイツの注目のトランペット。

●問い合わせ……管楽器専門店ダク 電話：03-3361-2211



シカゴ響のマーティン（右）ハグストロム両氏と中央がヴァイマン氏。（写真提供：ヴァイマン）

ピストン用のマウスピースでも問題なく吹けることから、ピストンからの持ち替えが容易。どちらもウィーンスタイルに近く非常に吹きやすい（ベルの大きいBb管はケルンタイプと誤解されがちだが、吹奏感はウィーンスタイル）。C管はハイC、ハイAキー付き、Bb管はハイキーなしたがオプショントで付けられる。各シルバークラシコとゴールドプレートがある。  
紅一点、唾抜きネジだけが赤いのは、「音楽と向き合うすべての奏者のために、ヴァイマン自身が厳しい目をもって最終検品をした証の赤」だそう。

●標準価格：パッション&クラシコ両機種（Bb&C管）ともにシルバープレート ¥756,000（税込）ゴールドプレート：¥864,000（税込）\*ケース別売